学校番号	3019

令和８年度　福祉科

教科	福祉	科目	生活支援技術 （分野：医療的ケア）	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	「生活支援技術」　（実教出版）						
副教材等	「改訂介護職員等による喀痰吸引・経管栄養研修テキスト」（実教出版） 「見て覚える介護福祉士国試ナビ」（中央法規） 「介護福祉士重要過去問　完全マスター問題集」（ナツメ社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

医療的ケアを必要とする人の自立した生活を支援するための安心・安全な医療的ケアを学びます。３年生では、演習や実技テスト、筆記テストなどを通じて、医療的ケアを必要とする利用者に対して安全で的確な喀痰吸引、経管栄養など介護福祉士として必要な専門的な知識や技術を身に付けます。

①医療的ケアの方法について興味や関心を持って授業に取り組み、医療的ケアの演習やグループワークなど、積極的に参加しましょう。

②国家資格である介護福祉士の受験資格を取得するために必要な科目です。

③介護福祉士の合格をめざして主体的に家庭学習を行い、単に知識を身に付けるだけではなく、実践的で体験的な学習活動で得た知識や技術を活用して、介護現場の状況に応じた判断力や実践力を身に付けましょう。

2　学習の到達目標

福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、適切で安全・安楽な生活支援技術を提供するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目標とします。

【知識および技術】

自立生活の支援について体系的・系統的に知識を理解するとともに、関連する技術を身に付けます。

【思考力、判断力、表現力等】

自立生活の支援の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養います。

【学びに向かう力、人間性等】

健全で持続的な社会の構築をめざして自ら学び、自立生活の適切な支援に主体的かつ協働的に取り組む態度を養います。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	高齢者や障がい者の尊厳を保持した適切かつ安全な医療的ケアの基本を理解している。また、医療的ケアを実践する際に必要な尊厳の保持の視点のもと基礎的・基本的な技術を身に付け、根拠にもとづいて安全に提供できる技術を適切に活用している。	高齢者や障がい者など医療的ケアを必要とする人の生活における諸問題の解決に向けて思考を深め、基礎的な知識と技術をもとに、専門職として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	医療的ケアを必要とする人やその医療的ケアの方法について関心を持ち、医療を必要としている人の気持ちに寄り添った援助ができるよう、主体的に取り組むとともに実践的な態度を身に付けている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
2学期	第Ⅱ部　高齢者および障がい児・者の喀痰吸引	第2章　高齢者および障がい児・者の喀痰吸引実施手順解説 1　喀痰吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持 2　吸引の技術と留意点 3　喀痰吸引にともなうケア 4　報告および記録	a:喀痰吸引で用いる器具や器材のしくみと清潔保持の方法や、実施手順と留意点を理解し、喀痰吸引に関する報告と記録について様々な資料や情報を収集し、適切に活用している。 b:喀痰吸引実施前の利用者の準備（体位・姿勢・プライバシーの確保）について思考を深め、適切に表現している。 c:喀痰吸引実施にともなう利用者の身体変化について、探究しようとしている。	定期考査 実技演習	定期考査 ワークシート	ワークシート 観察 発表

		第3章　介護職員等による喀痰吸引のケア実施の手引き ①口腔内(通常手順) ②鼻腔内(通常手順) ③気管カニューレ内部(通常手順)	a:口腔内、鼻腔内、気管カニューレ内部における喀痰吸引のケア実施の手順について理解し、安全で適切に提供できる技術を身に付けている。 b:口腔内、鼻腔内、気管カニューレ内部における喀痰吸引の手順の違いについて思考を深め、適切に表現している。 c:安全で正確な口腔内、鼻腔内、気管カニューレ内部における喀痰吸引の実施手順について探究しようとしている。	定期考査 実技演習	定期考査 ワークシート	ワークシート 観察 発表
	第Ⅲ部　高齢者および障がい児・者の経管栄養	第2章　高齢者および障がい児・者の経管栄養実施手順解説 1　経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持 2　経管栄養の技術と留意点 3　経管栄養にともなうケア 4　報告および記録	a:経管栄養で用いる器具や器材のしくみと清潔保持の方法や、実施手順と留意点を理解し、経管栄養に関する報告と記録について様々な資料や情報を収集し、適切に活用している。 b:経管栄養実施前の利用者の準備（体位・姿勢・プライバシーの確保）について思考を深め、適切に表現している。 c:経管栄養実施にともなう利用者の身体変化について、探究しようとしている。	定期考査 実技演習	定期考査 ワークシート	ワークシート 観察 発表
		第3章　介護職員等による経管栄養のケア実施の手引き ①胃ろうまたは腸ろうによる経管栄養 ②経鼻経管栄養 ③半固形栄養剤による胃ろう(腸ろう)の経管栄養	a:胃ろう（腸ろう）、経鼻における経管栄養のケア実施の手順について理解し、安全で適切に提供できる技術を身に付けている。 b:胃ろう（腸ろう）、経鼻における経管栄養の手順の違いについて思考を深め、適切に表現している。 c:安全で正確な胃ろう(腸ろう)、経鼻における経管栄養の実施手順について探究しようとしている。	定期考査 実技演習	定期考査 ワークシート	ワークシート 観察 発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度